

季節が変わり、嘔吐・下痢を伴う風邪がこれから流行ってきます。あっという間に集団に感染してしまう、非常に感染力の強いウイルスによるものもあります。嘔吐・下痢を伴うものとして、主に下記のようなものがあります。

## 感染性胃腸炎（ウイルス性胃腸炎）

ウイルスが胃腸に感染して、嘔吐や下痢、発熱をひき起こします。俗に『おなかのかぜ』といわれています。嘔吐から始まり、次第に下痢が生じます。下痢は水様性の、つぶつぶの混じった消化不良便です。

## ノロウイルスによる胃腸炎

嘔吐・下痢・発熱を伴います。嘔吐が半日～1日続き、ついで水様性下痢が1～3日続きます。発熱はあっても1日程度です。ときに集団での流行がみられます。

## ロタウイルスによる胃腸炎（乳児嘔吐下痢症）

白っぽい色の下痢便を特徴とする急性の病気で、冬から春先にかけて流行します。激しい嘔吐で始まり発熱を伴います。嘔吐は1～2日続き、米のとぎ汁のような水様性の白っぽい下痢になります。熱と嘔吐は1～2日で治ります。下痢は2～3日後に黄色がかった色になり、5～7日後に普通の便にもどります。また嘔吐がおさまらないうちに激しい下痢がはじまるので、脱水症状が急に進行することがあります。

## 胃腸炎時のホームケアについて

乳幼児は、脱水症状がすすめば元気がなくなりぐったりしてきて、尿の出が悪くなります。脱水症状の進行に注意し、早めに受診しましょう。下痢がおさまってきたら、おかゆやうどんなど消化のよいものを摂取します。

## 嘔吐物、便の処置について

処置をする時には換気をし、マスクや手袋を着用すると良いでしょう。嘔吐物はペーパータオルなどをかぶせ、上から次亜塩素酸（キッチンハイターを希釈した物等）をかけて拭き取り、ビニール袋に入れ、密閉して処分する。処理後は手洗いをしましょう。

## 症状のあるときは早めに受診しましょう。

また、診断のついたときは園へ連絡をお願いします。上記の疾患は、保護者記載の「登園届」が必要になります。